



神奈川学習センター敷地内に咲くスイセンの花。冬から春にかけて長く楽しむことができます。

目 次

退任に寄せて	2
神奈川学習センター40 年の歴史と一緒にまとめませんか？	3
地層と化石の研究	4
地域連携ウォーキング	6
学生生活に関するアンケート	8
公開講演会『美しい文字を書く』	11
令和 7 年度 客員教授によるオンライン公開講演会	11
令和 7 年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧	13
学生サークルからのお知らせ、神奈川同窓会だより、神奈川サークル協議会	14
K-サポートからのお知らせ	15
神奈川学習センターからのお知らせ	16

退任に寄せて

放送大学神奈川学習センター所長
大谷 英雄



私が神奈川学習センター所長に就任してから早4年が経ちました。この3月で任期を迎えるにあたり、所長として過ごした4年間の感想を述べさせていただきます。

放送大学生の強い「目的意識」と学習意欲

まず強く感じたのは、私が以前在籍していた横浜国立大学の学生と、放送大学の学生との「目的意識」の違いです。これは他の面接授業を担当される先生方も異口同音におっしゃることですが、放送大学の学生は学ぶ意欲が非常に強いと感じます。

他大学では、入試を突破して入学すること自体が目的化してしまい、入学時点での目的を見失ってしまう学生も少なくありません。目的が曖昧なため学習意欲が湧かず、授業に出席していても内容が定着せず、単位を落として留年を繰り返す学生もいました。

大学は本来、社会に出るための基礎知識を学び、将来の人生設計に必要な勉強をする場です。しかし、特に入学したばかりの低学年の学生にとって、将来働く姿を想像することは難しいようです。

私が所属していた工学部の学科では、低学年のうちは専門の基礎となる様々な学問分野を一通り学ぶ必要があり、必修科目が多く、時間割の大部分が固定されていました。高校までの受動的な勉強スタイルが抜けきらず、「空いている時間は何をすればいいのですか」と聞いてくる学生さえいました。大学



生にそこまで固定的なカリキュラムを押し付けるのは必ずしも良いことではなく、もう少し選択の自由度があった方が望ましいとは思います。

自由な科目選択が意欲の源泉

一方、放送大学は教養学部のみで、特定の専門家を育てるための基礎から積み上げるカリキュラムにはなっていません。その代わり、学生は自分の興味に合わせて自由に授業を選んで履修できます。この「自分で自由に選んで受講している」という点が、講師陣が放送大学生の学習意欲を強く感じる要因になっているのでしょうか。

また、資格取得のために必須の授業を受講する場合でも、自分の目的達成のために合格が必要であることを理解しているため、やはり強い学習意欲につながっていると思います。

講師陣の戸惑い：基礎知識のばらつき

このように高い学習意欲は評価されていますが、一方で講師陣には戸惑いもあります。放送大学には入学試験がなく、基礎科目からの積み上げが前提ではないため、学生間の基礎知識にばらつきがあるのです。学生がどの程度の知識を持っているか判断しづらいという課題があります。

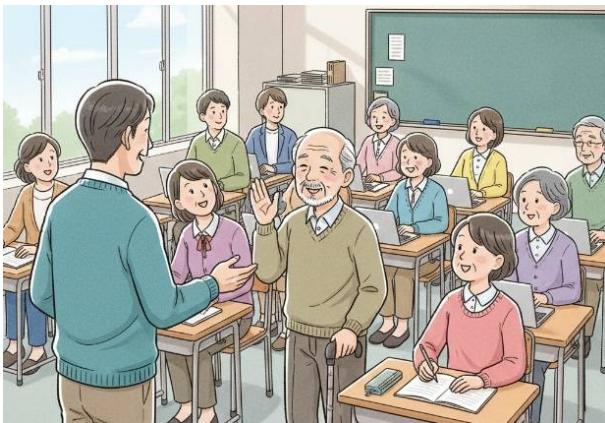
もっとも、他大学で入試を通過してきた学生であっても、大学の授業で高校レベルの知識を問われて答えられないことはしばしばあります。入試のない放送大学では、その知識レベルの差はさらに大きいと推測されます。先生方は戸惑いを抱えながらもそのあたりも考慮しながら授業を行ってくださっていると思います。

多様な学生と「学ぶ姿勢」

これらは、高校卒業直後の同年齢層の学生を中心の他大学と、生涯学習やリカレント教育に重きを置く放送大学との違いと言えるでしょう。

私は以前から研究室で年上の社会人大学院生と接してきましたが、放送大学には私よりもさらに高齢

の学生が数多く在籍しており、頭が下がる思いです。一般的に、年を重ねると人に教わる機会が減り、教えられることを嫌う傾向があるように思います。しかし、放送大学では高齢になっても謙虚に学ぶ姿勢を持つ方々に接することが多く、その人間的な器の大きさを感じています。知らないことは誰かに教わるのが、知識を身につける一番の近道ですからね。



結び：「勉強の仕方」をマスターした皆さんへ

私自身は、幼い頃から人に教わるよりも、自分で教科書を読んで身につけるスタイルが性に合っていました。中学や高校では、教科書を受け取ると授業より先に読み進め、学校の授業は確認のために聞くという感じでした（語学の発音などは別ですが）。

私は、大学は知識そのものというより「勉強の仕方」を教わるところだと考えています。したがって、大学を卒業して学位を取得された皆さんは、「勉強

の仕方」をマスターしたことになります。

放送大学ではすべてのコースを卒業した「名誉学生」も多くおられます。放送大学がすべての学問領域をカバーしているわけではありません。まだまだ学びたいことがある方もいらっしゃるでしょう。学位を取得され、「勉強の仕方」を身につけた皆さんも、これからもご自身の興味のある分野で生涯学習を続けていかれることを期待しています。



ところで、今回のイラストは最初のものは Microsoft の Copilot、残りの 2 点は Google の Gemini に文章に合うようなイラストという指示で描かせたものです。私自身にこのようなイラストを描く能力はありませんが、AI を使えばこのようなイラストが短時間で完成する時代になりました。

皆さんがこれからもワクワクして新しい知識の習得にチャレンジしていかれることを期待しています。

神奈川学習センター40 年の歴史を一緒にまとめませんか？

ボランティア募集

◆初顔合わせ

2 月 15 日(日) 13:30～15:30

学習センター第 4 講義室対面および Zoom 併用

◆活動期間：2028 年 3 月まで(予定)

40 周年のお祝いの気持ちを込めながら取り組みます

◆成果物

冊子体にして刊行予定です。皆さんの思い出や文章が、この記念の冊子に刻まれます。私たちと一緒に、センターの歩みを形にしてみませんか？

◆応募

活動に参加を希望される方は、① 氏名、② 電話番号、③ メールアドレスを神奈川学習センターにメール※でご連絡ください

※宛先のメールアドレスは、神奈川学習センターウェブサイトの「トップページ>お問い合わせ」に掲載



アドバイザー：坂井 素思名誉教授
事務局(仮)：宮崎、垣谷

放送大学神奈川学習センターは、2025 年に 40 周年を迎えました。そこで私たちは、この節目に神奈川学習センター 40 年の歴史をみんなでまとめたいと考えています。

◆どんなことをするの？

- ・これまでの「神奈川学習センターだより」などの資料を整理します
- ・興味のあるテーマごとに分担して文章を書きます(執筆)
- ・できあがった原稿を読み合い、編集してまとめます

◆活動の雰囲気

- ・2ヶ月に1回くらい集まり、ワイワイ話をしながら進めます
- ・作業は無理のない範囲で分担します
- ・執筆経験がなくても大丈夫！ 資料整理やアイデア出しだけでも大歓迎です

◆募集人数：10～20 人程度

学習者・卒業生・センターに関わったことのある方、どなたでも参加できます

地層と化石の研究

放送大学神奈川学習センター客員教授
間嶋 隆一



私は、新生代（6500 万年前から現在）に堆積した地層と化石を対象に研究を進めております。今回は現在の私の主要な研究テーマである三浦半島北東部の地層と化石について、紹介させていただきます。

図 1 は三浦半島北東部の京急金沢文庫駅、金沢八景駅、六浦駅、追浜駅を含む範囲を示しています。この範囲の地層は、地層の下位から上位へ（図の左下から右上に）池子層（記号 I），浦郷層（U），野島層（N），大船層（O），小柴層（K）と重なっています。この図はこれらの地層の単位ではなくて、堆積当時の地球磁場の極性で地層を色分けして

表現しています。緑、青、紫の範囲は堆積当時正磁極であった範囲で、この範囲の地層が堆積した時代にタイムマシンで行けたとすると、方位磁石の色の付いた側の磁針は現在と同様に北を向きます。一方、灰色の部分は堆積当時逆磁極であった範囲で、この時代に行けたとすると色の付いた磁針は南を向きます。これらの色の境界は地球磁場が逆転した時代（地磁気逆転境界）を示しています。白の部分は若い時代の地層（沖積層や埋立地）によって研究対象となる地層が覆われているか、極性が不明な範囲（図の左下）になります。国道 16 号を金沢文庫駅方面から追浜駅方面へ走ると、オルドバイ正磁極帯（紫）の上限と下限、フェニ正磁極帯（青）の上限と下限、ガウス正磁極帯（緑）の上限の 5 回の地磁気逆転境界を横切ることになります。よく「房総半島のチバニアンで有名になった地球の磁場が逆転している場所に行ってみたい」というお話を横浜在住の方からお聞きするのですが、私は

「地球の磁場が逆転している場所なら横浜や横須賀の至る所にありますよ」と言っています。なお図のコア M と O は地層の地磁気が正確に測定されたボーリングコアの位置を示し、NOT-12 と KGP の赤線は代表的な凝灰岩鍵層を示しています。

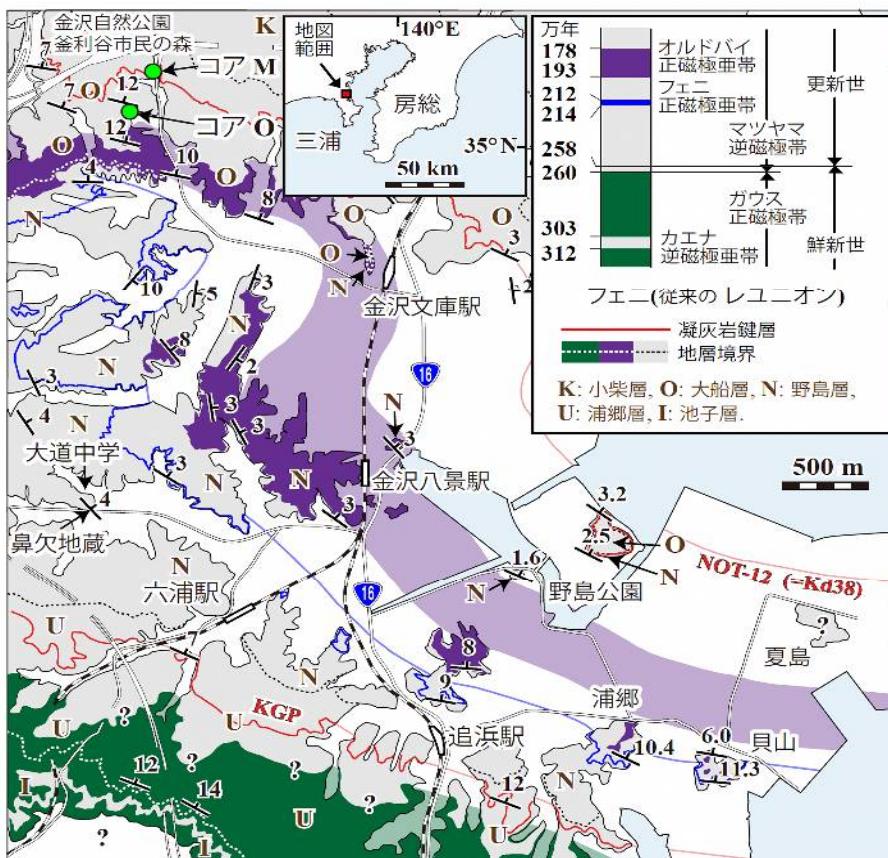


図 1 間嶋ほか(2023, 地学雑誌, 132, N20)を一部改変



図 2 大道中学構内の横浜市指定天然記念物の貝化石密集層（写真最下部、ポールは 2 m 長）

上に記した地磁気境界は、地球磁場が逆転したという現象だけでなく、地層の堆積した年代を知る上で非常に重要です。地層の年代を知る手段としては地層に含まれる元素の同位体比に基づく年代測定（放射年代）や化石の地層間の比較などを用いる方法がありますが、いずれも一定の誤差や地域差を含みます。一方、地球磁場の逆転は全球的に同時に起こる現象なので、地域間の地球磁場の逆転の位置が対比できれば（同じだと分かれば）、それらは全く同じ年代となります。各地磁気逆転の年代は正確に測定されていて、それらを図の右上に万年単位で示しました。例えばオルドバイ正磁極亜帯の上限は 178 万年前とされていますが、この年代は世界のどこでも同様です。

放送大学では面接授業の他に地質学・古生物学ゼミを担当させていただいております。当初ゼミでは多様な話題を話し合ったり、有名な場所の地層観察をしたり、調査のお手伝いをしていただいたりしていましたのですが、せっかくの学生の皆様の熱意を生かせるようにと、ここ 1 年ほどは、図 1 の大道中学構内の貝化石密集層とそれを含む地層の調査を行い、ゼミの参加学生の皆様と研究を進めています。

大道中学の地層はガウス正磁極帯の上限（260 万年前）からフェニ正磁極亜帯の下限（214 万年前）の間の時代の地層（図 1）です。ここには、海底面下からのメタン湧水に依存して生息する化学合成二

枚貝を多量に含む貝化石密集層（横浜市の天然記念物）があり、横浜市教育委員会から許可をいただいて露頭を清掃し、写真撮影を行いました（図 2）。この写真撮影には複数の画像を合成させて立体的な画像を生成する画像処理（3DF Zephyr）を利用しました。写真右側のポール下部の表示がおかしくなっているのはそのためです。

大道中学の入口には鼻欠地蔵と呼ばれる、地層の突出部にお地蔵様のお顔を掘った崖があります（場所は図 1）。この突出部にはメタン湧水に依存して生息する化学合成二枚貝であるツキガイ類化石の合弁個体が生息姿勢を維持して産出します。この地層突出部は以下のように説明されます。この場所の地層の堆積時にメタン湧水が起きていて、海水に含まれる硫酸イオンと地下からの湧水に含まれるメタンとが海底面下で嫌気的メタン酸化と総称される反応（下の式）を起こし、硫化水素イオンと炭酸水素イオンが生成されました。生成された炭酸水素イオンはアルカリ度を上昇させ、海水中のカルシウムイオンなどと反応して炭酸塩が沈殿し、地層の一部が固結して突出した原因になったと思われます。一方生成された硫化水素イオンは化学合成二枚貝が体内に共生している硫黄酸化菌によって有機物合成に利用されたと考えられます。これらの成果を何とかまとめることができがゼミの目標になっております。



地域連携ウォーキング

金沢八景・六浦湊を感じて歩こう！！ 金沢八景駅から野島公園へ

2025年11月1日にK-サポート地域連携チームによるウォーキングイベントが実施されました。16回目となる今回のテーマは「金沢八景・六浦湊を感じて歩こう！！ 金沢八景駅から野島公園へ」。学内外から約30名の方々が参加し、チームメンバーの歴史・文化・自然などのガイドで5kmほどを3時間近くかけて一緒にウォーキングを楽しみました。学外からの参加者と学生の根本さんからご寄稿をいただきましたので紹介いたします。

(編集部)

「あーくたびれた！」磯子スポーツセンターのジムでのリハビリトレーニングを終えた後帰宅しようと出口に向かったら、「あっ！何かのイベント情報が幾つかあるぞ」スポーツ・ウォーキングコーナーに金沢八景散策があった。「ガイドさんの案内もあるようなので楽しそう」

自宅に案内書を持ち帰り見てみると、放送大学が主催者とあった。「放送大学ってなんだろう？」調べてみたら、通信制大学で学位や資格も取れるようだ。全国各県に有り在校生は男女同数で、50代が一番多く20%以上いるようだ。驚いたことに70代以上が11%いるとの事。と言う事はBS放送やインターネットで受講出来るんだ。

現在就業中の人们や、以前様々な理由で大学進学出来なかった人们や、もっともっと勉強したい人们がこの大学に進み、勉学に励んでいるようだ。人生の選択肢が多くなるんだな。

さて、歩こう会のパンフレットのコースを見ると、70代半ばで無職の人でも歩けそうなので妻と一緒に参加申し込みました。

当日9時に金沢八景近くの権現山公園に集合し、担当者から行程表や地図等の資料を受け取り、その後軽い準備運動をしてから出発。

権現山公園・旧円通寺客殿を見学した後、泥牛庵(臨済宗)へ。初めての拝観で鎌倉時代の面影が残っていて感激。

上行寺(日蓮宗)へ。山門を入るとすぐ右手に、日

蓮上人が船でこの地に上陸しその船を繋いだ松の木がある(何代目かの)。ここまで海が入ってきていたようだ。お墓群の奥の崖下にやぐらがあり、他に牛馬などを供養する宝篋印塔がある。当時は農業や運搬に牛馬を酷使したのでその供養のためのようだ。

金龍院(臨済宗)へ。残念ながら入門出来なかった。お寺さんの庭の奥の小高い丘を登ると九覽亭がある。金沢八景+富士山(又は能見堂)の合計九つの美しい景色が一望出来た。今は多くのマンションやシーサイドラインと少しだけ平潟湾が見える。平潟橋を渡り野島公園(四望亭側)へ。その後夕照橋(神奈川の橋百選)を渡り野島山展望台へ。標高57mなのに坂を登っていると身体に疲れが出てくる。「普段からもっと歩いておかなくちゃ」と。展望台から360度の景色が楽しめる。富士山もよく見えた。下山し旧伊藤博文別邸で解散。権現山から約8,000歩。その後別邸に入り見学。博文の生い立ち・功績等の資料が沢山。

見学後、シーサイドライン野島公園駅から帰宅。「あー楽しかった！やっぱりガイドさんがいると楽しさが倍増するなあ」

この歩こう会は、放送大学の学生さん達が企画して、コース付近の歴史や文化・観光について調査研究し、一年掛かりでコースを何回も下見をして安全面の確認をしてきたそうだ。有難いことだ。次回も参加したいですね。

<唯歩>





歴史探訪ウォーキング完歩しました

無風快晴の素晴らしい天候に恵まれて晩秋の"金沢八景・六浦湊"を歩いてきました。地域連携チームのウォーキングへの参加はこれで5回目となります。私の参加目的は、"健康促進" "人とのふれあい" "歴史探訪"です。

最初は好奇心からの参加でしたが、地域連携チームの方から"ウォーキングコースの下見会"に誘われました。日ごろ運動の少ない生活習慣の改善や、住んでいる地域の見慣れない風景の散策などに興味を覚えたことから喜んで同行させていただきました。

下見会は、春先から始まり本番当日までに5回行われて、そのうちの3回に同行させていただきました。"金沢八景・六浦湊"地域にはたくさんの名所旧跡が残されています。その都度、心身ともに爽快な気分に浸ることができ、歩き終わったあとはこの上ない充実感を味わうことができました。

私は、地域連携チームのメンバーではありません。ちょっとしたことから下見会への誘いがあり健康管理の面からメンバーの皆さんと行動を共にしました。本日、見事に<ウォーキングの会>が開催されましたが、今日の本番を迎えるにあたっては、春先からの"地域連携チーム"の皆さんとの並々ならぬご尽力がありました。

先ず、"エリアの選定とキャッチコピーの決定"と

"ルートファインディング"。

次にお互いの知識を確認し合いながら「コースの下見会」を5回ほど。その日確認したコースの「マップ作成」、「名所旧跡の資料収集・ガイド書の作成」、「最終ルート確認会」。皆さんそれぞれ得意分野の知識を活かしながら企画が纏まっていきます。

風が吹いて寒い日も初夏から真夏の暑い日も下見会を催し、終わってから報告検討会。私はその活動を側面からうかがい、チームの皆さんをこの活動に導くエネルギー源はなんだろう。何がチームの皆さんをそこまでさせるのか？ 貢献的精神？ 積極的な義務感？ 達成感？ とにかく頭が下がる想いでした。

地域連携チームの皆さんにおかれましては、春先から企画を練って下見を繰り返しながら無事にフィナーレを迎える達成感もひとしおのことと思います。

学生同士のつながり、学習センター(学び舎)とのつながりをつくる。それはそれは時間を要する活動であり、このたびの地域連携ウォーキングも8ヶ月ほどかけて実を結びました。まさに学生手作りの<ウォーキングの会>です。

熱心な学生が集っている「神奈川学習センター」は、このように学生たちが支え合い、学生生活を魅力的なものにしているのだと非常に深い感銘を受けました。

<根本房光>



学生生活に関するアンケート

K – サポート機関紙編集チーム

2025年9月に神奈川学習センターにて開催された「学位記授与式」と、10月に開催された「入学者の集い」の参加者を対象として、学生生活に関するアンケートを実施しました。

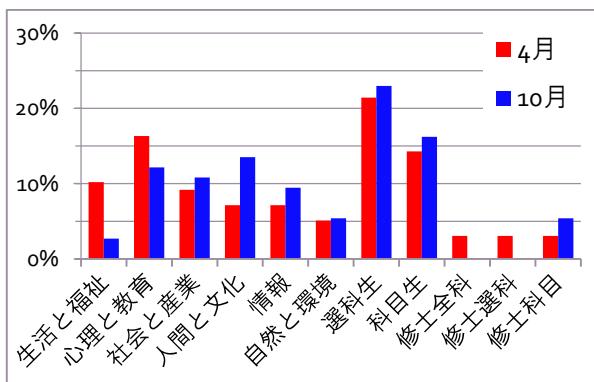
アンケートは配布した用紙に記入していただく形で実施し、卒業生39名と、入学生74名から回答がありました。

■入学生アンケート

はじめに、入学者向けアンケートを、今年度4月と10月を比較しながら紹介します。

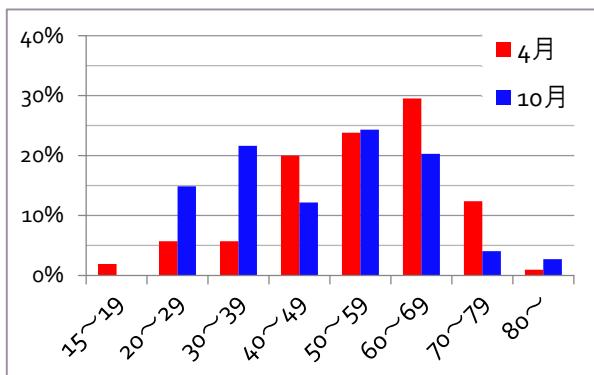
入学者の学生の種類について

例年同様、1学期に比べ2学期は、科目履修生、選科履修生の比率がわずかながら高いようです。全科履修生は、生活と福祉、心理と教育が少なめで、人間と文化、情報が多いのが今期の特徴となっています。



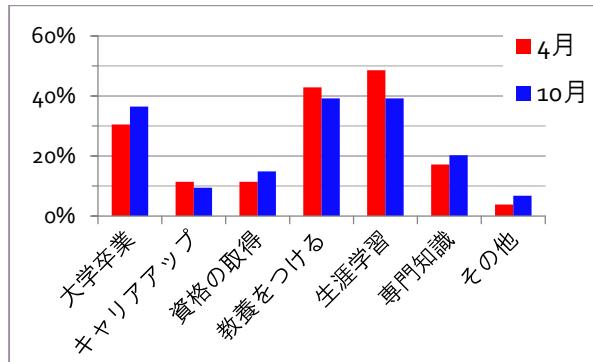
入学者の年齢構成について

今学期は、20代・30代が多めで、40代が少ないことが特徴となっています。50代から60代のピークは残っていますが、60代・70代に減少傾向が見られます。参加者の年齢構成が大きく変わった学期となる可能性があり、今後の動向が注目されます。



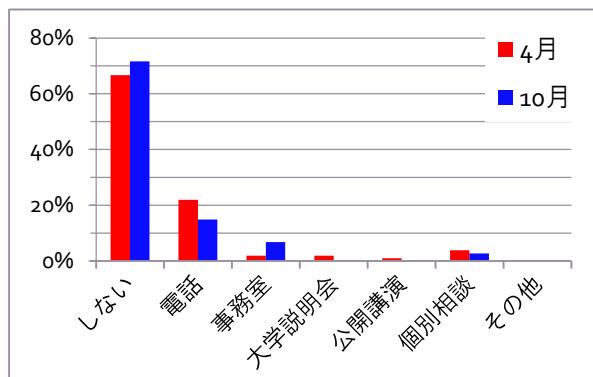
入学動機について

例年は大学卒業を目指す方が少なくなるのですが、今回は大学卒業を目指す方が多い特徴があります。生涯学習や教養が少なめで、専門知識や資格取得を目標とする方は多めになりました。年齢構成の変化が影響している可能性もあります。



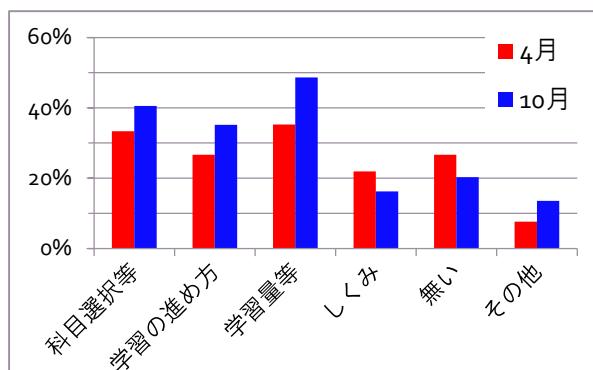
入学前に相談や問い合わせをしたか？

コロナ禍以降、「しなかった」という方がとても多くなっています。今学期も問い合わせをしない方は多く、次の設問をあわせて考えると、Web情報等を参考にして事前に調べているとも考えられます。



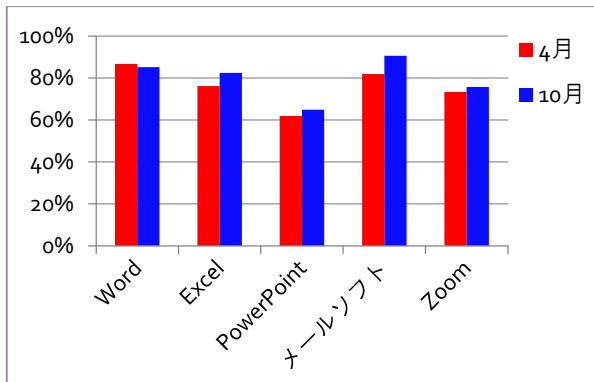
放送大学でわからないことがあるか？

基礎的なところはよく調べているようですが、実際の学習量を知りたいという回答になっていると思われます。



パソコンの習熟度について

年齢構成等に変化があったにもかかわらず、近年の傾向を反映しています。



自由記入欄を見ると、統一的な傾向は見られず多様な回答となりました。教員や式典に対しては、高い評価がされている反面、先輩学生たちの活動に対しての関心は、薄いようでした。

自由記入欄

原則同様のものが 2 件以上あるものを記載しました。

- 入学者の集いに参加できてよかったです、嬉しかった。(3名)
- 入学した実感がもてた。参加者をみて学習意欲が湧き大変良い刺激になった。(3名)
- 大谷所長の話が参考になった。よかったです。(3名)
- 高木先生ほか客員の先生の話を聞いて、その学問分野に興味が湧いてきた。(3名)
- 先生方の話は勉学の指針になると思った。(2名)
- パワーポイントなども使われてわかりやすい説明だった。(3名)
- 説明を聞いて、わかり難かったところがクリアになった。(2名)
- 情報量が多く、説明もわかり難かった。(2名)

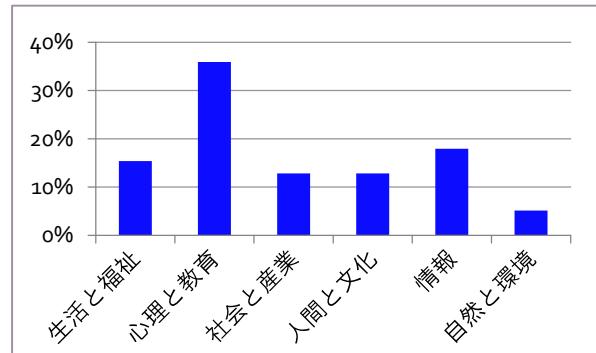


卒業生アンケート

次に、9月の卒業生に対して行われたアンケートです。

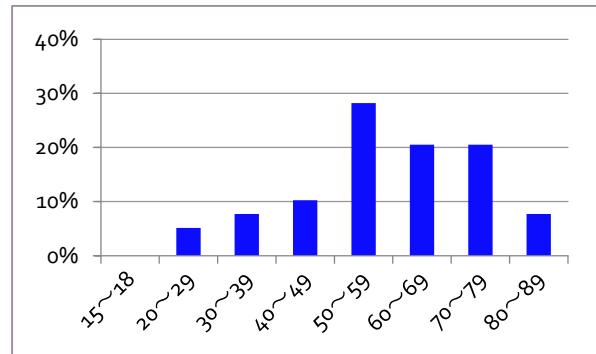
卒業生のコースについて

例年通り、心理と教育が多かったのですが、次に多いのが情報ということが特徴となりました。



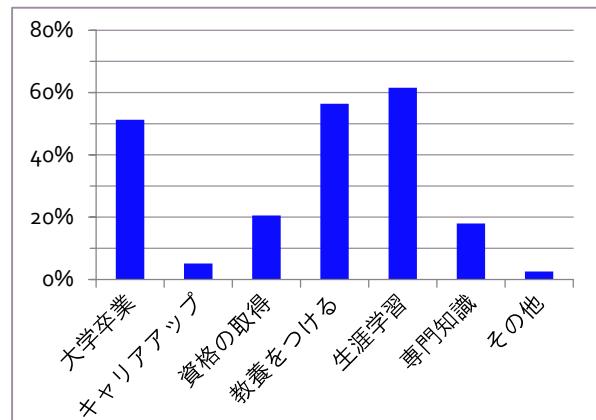
卒業生の年齢構成について

近年の傾向を引き継ぎ、50代以降が多く、若年層はかなり少い結果となっています。コロナ禍以降大量入学した若年層による卒業生の増加は、今年もみられなかったようです。



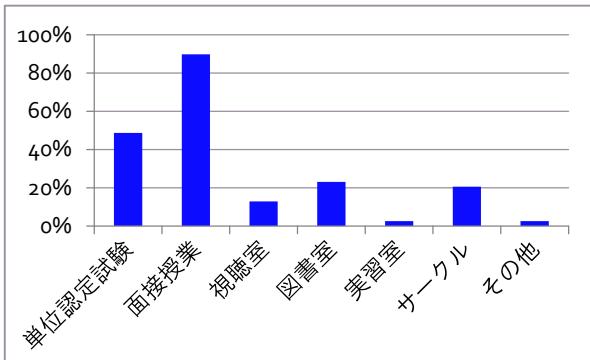
入学したときの動機について

年齢構成も影響していると思われますが、生涯学習が多く、キャリアアップが少ない傾向が続いています。



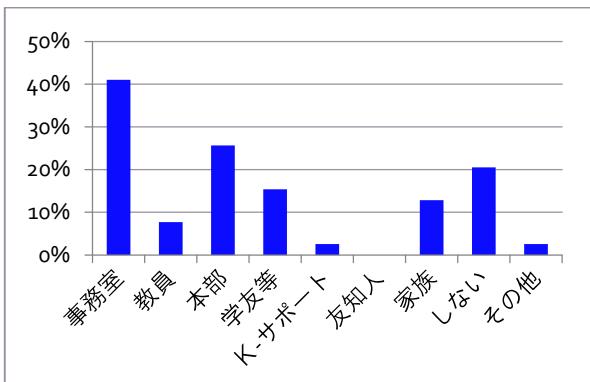
学習センターの利用について

単位認定試験をあげる方は、昨年よりさらに減少して、50%を切りました。試験期間になると受験者で溢れ返った学習センターも歴史の一コマになります。今後学習センターの利用は、面接授業、図書室利用、サークル活動に集約されていくような傾向もみられます。



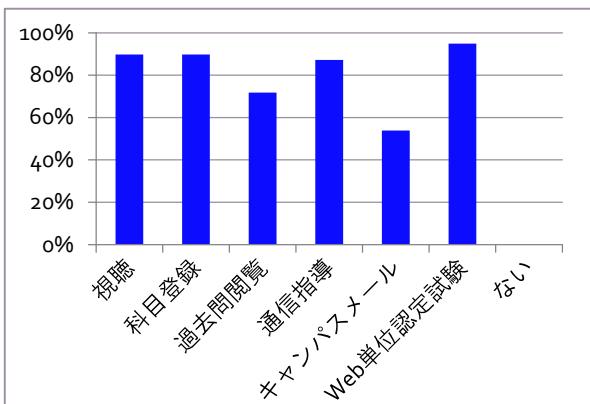
放送大学での相談先について

今年は、前年より相談しなかったという方が減って、本部に電話、事務室に相談という回答が増えました。



システム WAKABA 等の利用状況について

Web 単位認定試験の割合も含めて、ほぼ去年同様の傾向ですが、科目登録や通信指導の利用が増えています。通信指導は、基本的に Web 提出になったことも関係あります。



学生生活の満足度について

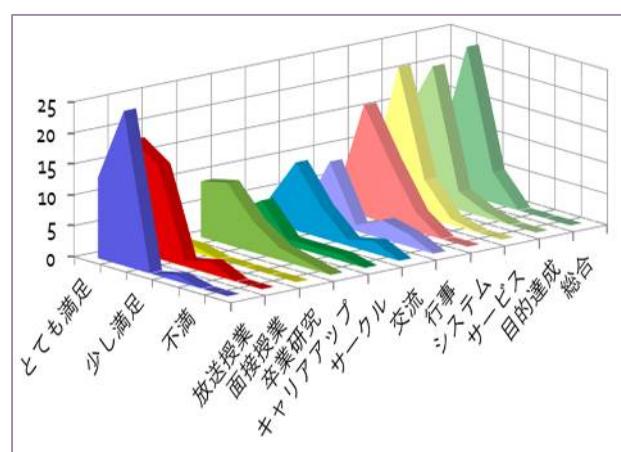
昨年にくらべて、相対的に満足度は上がっています。サービスやシステム的なところは評価が上がり、面接授業も高評価となっています。行事については、やや向上しましたが、交流やサークルについては、まだまだ向上の余地が大きくなっています。

【放送授業】

錯覚の科学 3名
中高年の心理臨床 2名
アメリカ芸術と文化 2名
問題解決の進め方 2名
その他、自身の所属コースの科目をあげた方が多かった。

【面接授業】

心理学実験 I・II・IIIを合計して 6名
ジャーナリズム最前線 2名
フランス語 2名
実習や学習センター外で実施の授業、語学の科目、情報の科目をあげた方が多かった。



自由記入欄

- 自分のペースで 7 年半かけて卒業できた。
- 公認心理師への道があると期待したが叶わなかつたが、一連の学びの中で自身の知見が更新されたのはよかったです。学習を続けていきたい。
- 4 年のつもりが 7 年かかったが、インターネット授業もあり、コロナ禍ではありがたかったです。心理学コースで多くを学んだので仕事に生かしていきたい。
- 25 歳で入学して 30 年、出産、仕事、語学の勉強と並行しながら休学することもあったが、卒業でき自信がついた。スタッフのみなさまにも相談に乗ってもらい助かったです。今後も、質の高いエキサイティングな授業を提供してほしい。
- 会場に着く迄、実感できなかつたが、見えない友のハレの姿を拝見し、大学を卒業した実感が湧いた。今後も卒業生として努力を続けたい。
- 知る喜び、友との交友が良い経験となつた。

- 気がついたら 19 年、楽しく教養を学ばせていただきました。
- 今回の卒業は 1 つの区切りですが、学び足りないので再入学しました。
- 科目申請の手続きを間違えたとき、本部の担当の方が丁寧に対応してくれました。編入して 2 年間で卒業できました。最初は、放送授業のみの受講でしたが、その後面接授業を受講したところ講師の先生から直接話が聞けたり、他の受講者とのディスカッション等、有意義な時間を過ごすことができました。

- オンラインでの授業が、生活のすき間時間に受講することができ、とても良かったです。
- 長い 4 年間。放送授業を中心にこつこつ学び続け卒業できたことは、自信になった。よりよく生きられるヒントを学んだ気がする。これから的人生がまだまだ楽しいものになりそう。
- 授業を一方的に放送するだけでなく、学習センターが学生の交流や研究の場として活用されるといい。
- 大人になってからの勉強は楽しかった。
- 7 コース目の全科コースを新設してほしい。

公開講演会『美しい文字を書く』



2025 年 11 月 16 日、横浜市大岡地区センター大会議室にて、横浜市大岡地区センターと放送大学神奈川学習センターの共催で、青山 浩之 横浜国立大学教授による講演会「美しい文字を書く」が開催されました。

青山先生は「美文字王子」の愛称で知られ、テレビなどのメ

ディアに多く出演しており、ご存じの方も多いと思います。美文字に関する著書なども多数出版され、今回も「美しく見える文字のポイントとは?」をテーマにご講演いただきました。

講演では、実際に文字（お手本）を書きながら、読みやすく美しい文字の原理・原則について解説し、美文字を書くためのポイントをやさしく教えていただきました。

今回の講演で強調されていたことは、線と線の余白部分のバランスに着目して文字を書くということ

で、特に横画の多い文字を例に、バランス良く美しい文字を書くためのポイントを解説され、参加者も実際に文字を書きながら熱心に聞き入っていました。

青山先生の明るく優しい人柄が相まって、講演終了後も多くの方から質問や相談が寄せられており、活発で和やかな雰囲気の講演会となりました。

青山先生の文字を書く時の姿勢の美しさが、とても印象的な講演でした。



令和 7 年度 客員教授によるオンライン公開講演会

地方自治の法としくみ ～特別区制度と地方自治市制度を例に～

2025 年 12 月 6 日、嘉藤 亮 神奈川学習センター客員教授によるオンライン公開講演会が開催されました。

講演では、神奈川県の大きな市を例に、日本の地方自治の仕組みをわかりやすく解説されました。

嘉藤先生はまず、地方自治とは国にすべてを任せるのではなく、地域で自分たちのことを決める仕組みだと説明しました。地方自治には、市町村が行政を行う「団体自治」と、住民が選挙などで政治に参加する「住民自治」の二つがあること、権力を一か所に集約せずに分ける「三権分立」の

重要性や、国と地方の役割分担についても触れました。

続いて、大都市特有の問題として「二重行政」が紹介されました。人口の多い都市では、県と市が似た仕事を重複して行なことがあります。これを解決する方法として、大阪で議論された「特別区制度」や、神奈川県の大きな市が目指す



「特別市制度」が説明されました。特別市制度では、市がより多くの権限を持ち、自分たちの判断でまちづくりを進められるようになります。

さらに、地方交付税やふるさと納税といった財政制度も紹介され、自治体ごとの財政格差や大都市での税収減の課題についても触れました。

日本人にとって英語教育はどこまで必要か 一主に大学教育を中心に考える－

2026年1月10日、小林正佳 神奈川学習センター客員教授によるオンライン公開講演会が開催されました。

講演では、大学や学校教育における英語教育の位置づけについて、制度の変化と現場の実態を踏まえて議論されました。

小林先生は、大学での英語教育が必修科目から大学ごとの判断で履修できる選択制に変わった経緯を説明し、1991年の大学設置基準改正で必修単位数が緩和され、大学はディプロマポリシーに基づき教育内容を設計するようになったため、学習の重点は大学ごとに異なると指摘しました。



高齢者の役割と生涯発達

2026年2月7日、安藤孝敏 神奈川学習センター客員教授によるオンライン公開講演会が開催されました。

講演では、高齢社会の現状を踏まえ、生涯発達理論に基づく高齢期の特徴や、高齢者が社会で果たす役割について説明が行われ、Zoomのチャット機能を使用した参加者との意見交換では、「役割」をテーマに家庭や地域、仕事での例が紹介されました。

安藤先生は、高齢期の健康を病気の有無だけで判断するのではなく、日常生活をどれだけ自立して充実させて送っているかという「生活機能」の視点が重要であると強調されました。

また、高齢者の約8割は自立した生活を送っており、高齢期にも体力低下や経済状況への対応、社会的役割の継続など、さまざまな発達課題が存在することが示されました。

定年後の役割の変化については、仕事中心の生活から地域活動や新たな社会参加へ移行する重要性や、

最後に、「特別市構想は行政の効率化だけでなく、私たちが住むまちを誰がどう動かすかを考えるきっかけになる」とお話しされ、講演を締めくくりました。

今回の講演は、地方自治を身近な問題として考えるヒントを与える内容となりました。

さらに、193大学のディプロマポリシー分析の結果を紹介。国立大学の約3分の2が英語能力に言及していましたが、入学試験では英語が重視される一方、卒業要件として明確に位置づける大学は少なく、「入学時と卒業時で英語教育の扱いにズレがある」と指摘しました。

また、日本の英語教育政策の変遷にも触れました。政府は1990年代以降、グローバル化対応のため英語教育改革を進め、学習指導要領では「コミュニケーション能力の育成」を掲げています。しかし、授業を英語で行うことが目的化すると理解が浅くなる可能性や、スーパーグローバル大学創設支援事業の成果検証の必要性について説明されました。

英語教育は制度だけで決まるものではなく、学ぶ側の工夫と努力が不可欠であると強調。さらに母語である日本語の重要性も述べ、高度な思考は母語に支えられており、英語力向上にも日本語で深く考える力が必要だと指摘しました。

最後に、将来どのように英語を使いたいかを考え、主体的に学ぶことの重要性を訴えて講演を締めくくりました。

高齢期の知能は一様に低下するのではなく、経験や知恵に基づく能力が高まることが説明されました。

講演の後半では、地域活動やボランティア、子育て支援などを通じた高齢者の社会貢献と、ウェルビーイングとの関係が紹介され、高齢者の定義については65～75歳程度が一つの目安とされつつ、年齢だけでなく社会的役割や本人の幸福感を重視する視点の大切さが示されました。

本講演を通して、参加者は高齢期の健康や役割、社会貢献について理解を深め、自分らしい生活を考えるきっかけとなりました。



お問い合わせは <https://form.gle/4u6ER8kSWZEmaev>

令和 7 年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧

神奈川学習センターのゼミは、所長、客員教員が主催する勉強会です。自由な雰囲気で、先生からの指導、学生相互の意見交換、親睦を深めることができます。

令和 8 年度の開講ゼミは、4 月以降に神奈川学習センターのウェブサイトに掲載されますので、ゼミへの参加を希望される方は、ウェブサイトトップページに掲載の「神奈川学習センター実施のゼミのご案内」のリンク先から、注意事項を確認のうえ申請を行ってください。

◆ 神奈川学習センター客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催予定日
安藤 孝敏	生活の中の老年学	老年学（ジェロントロジー）は、高齢者の生活にかかる問題などを解明し、より良い高齢社会をデザインするための学問です。このゼミでは、日常生活の中にある高齢社会の様々な問題について、ゼミ生と一緒に考えていきます。	毎月第 3 水曜日 学生との調整により変更もあります
大谷 英雄	リスクを考える	現代はリスク社会と言われ感染症のリスクや自然災害のリスクなどがマスコミでも取り上げられることが多いが、一方でリスクはあるかないかを議論するものではなくて大きいか小さいかが議論されるべきものであるのに、あるかないかが議論されていることが多いように感じられる。このゼミではリスクの捉え方や伝え方などについて議論していきたい。	毎月第 3 火曜日 学生との調整により変更もあります
大矢 勝	洗浄科学ゼミ	洗浄を通して科学的な態度を楽しむ姿勢を身に付けることを目的として、毎回洗浄に関する別のテーマを設定し、それぞれの有効な洗浄方法とその仕組みについて考えていきます。 ※開講期間 2025 年 10 月 1 日～2026 年 1 月 16 日	毎月第 2 または第 3 木曜日
間嶋 隆一	地質学・古生物学ゼミ	地質学と古生物学に関する勉強と野外実習や見学の実施。	最初のゼミ日に日程調整します

◆ 元客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催予定日
植村 博恭	グローバル時代の社会と経済政策	本ゼミナールは、グローバル時代の社会と経済政策のあり方について学びます。特に、様々な身近な問題を毎日働き暮らしている生活者の視点で考えていきたいと思います。日本企業における働き方の改革、男女平等社会の実現、退職後の安心できる暮らし、個人資産の有効な管理と運用などを取り上げつつ、私たちひとりひとりの生活を支えてくれる経済政策のあり方はどのようなものか、勉強していきます。特に、若者、中堅世代、高齢者、女性、男性といった様々な世代の市民の観点からゼミを進めて行きたいと考えています。	毎月 1 回程度 金曜日 (Zoom 及び対面)
高橋 邦年	英語基礎ゼミナール ※現在、新規のゼミ生の募集は行っていません。	毎回 2.5 時間（休憩 10 分）の活動を行う。平易な英語教科書を選び、必要に応じて講師が内容について説明・解説をし、それを受けて学生が演習を行う。進度はあらかじめ定めず、無理なく進める。	基本的に 毎月第 2 土曜日 あるいは 第 3 土曜日

学生サークルからのお知らせ

■ 神奈川放友会

◆ 1985年創立

『学び、遊び、助け合い、人生を楽しむ』をスローガンに、現在 120 余名の会員が、積極的に活動に参加しています。

◆ 2025年度2学期 行事予定

2月 冬季例会 会員発表「ゴシック建築」他
3月 花見・卒業祝賀会

◆ 詳細・問い合わせ <https://kanagawa-hoyukai.jp>

■ 人間学研究会

人間がかかわる様々な事について、多面的視野から学習し、会員の交流と親睦を図っている現代の寺子屋です。会員 60 名(男性 34 名、女性 26 名)

◆ 月例会：卒業研究・旅行経験発表・映画観賞・外部講師講演

- ・原則毎月第 2 土曜日 12:30
- ・神奈川学習センター又は大岡地区センターで実施
- ・日時、発表者、テーマ、概要はポスターを掲示

◆ 会誌：せせらぎ 36 号発行

◆ 学外施設の見学、散策、観察

◆ 問い合わせ：片野 賢治

1310765661@campus.ouj.ac.jp

■ うえるかむ Kanagawa

私達は英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

◆ 例会は原則、毎月第 2・第 4 水曜日。

◆ 外国人講師英会話(対面/Zoom、10:00~11:30) (参加費有料、初中級・上級の 2 クラスに分かれ、各 45 分)

◆ Group Study (学生同士、13:30~15:30)

入門：対面(春・秋)、Zoom(夏・冬)

初中級：対面

中級：対面(春・秋)、Zoom(夏・冬)

上級：対面(土曜日又は水曜日)

◆ スクラブルディ：第 2 金曜日 13:30 より対面

◆ 年会費：現在は無料(通常は年 1,000 円)

◆ ウェブサイト

<https://welcome-kanagawa.jimdofree.com>

◆ 問い合わせ

金子 韶 (Email kaneko-toyomu@outlook.jp)

■ 歩・歩の会(地球研)

◆ 目的：地球科学ゼミ(有馬ゼミ)を発展的解消し、結成されたサークルです。地球科学をベースに自然を学び「人新世(Anthropocene)」における地球環境危機について考えています。

◆ 活動：毎月 1 回程度 活動参加の時に 500 円徴収

◆ 2025 年度活動計画：

池上の蛇紋岩、両神山のチャート、高尾山の小仏層、丹那断層、佐渡島 Geo、初島巡検、箱根火山、西丹沢のガーネット採取など。

◆ 露頭にご興味のある方はご連絡ください。

(代表：吉岡・中澤)

◆ Email earth.hoho.kanagawa@gmail.com

※サークルの活動内容や加入等に関するお問い合わせは、下記の各サークルの連絡先にお問い合わせください。
神奈川学習センターではお答えすることができません。

■ 放大かながわレク・サークル

◆ サークル活動：放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」

◆ 例会：2 ヶ月に 1 回(含、映画鑑賞会)

◆ ウォーキング：2 ヶ月に 1 回、「鎌倉街道」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。

◆ その他：観劇、観光、映画、美術鑑賞等。 上記の各種活動はいずれも自由参加。

一員募集中(随時申込・受付) —

◆ 問い合わせ：島田 義治 Tel 090-3907-8384

Email bunsima829@gmail.com

■ スペイン語研究会

在校生の皆様！ 新入生の皆様！

スペイン語研究会へようこそ！

陽気なペルー女性講師と愉快な仲間が和気あいあいとスペイン語とスペイン語圏文化などを学んでいます。

まずはお気軽に見学から！ いつでも大歓迎です！
笑いと美食、銘酒の懇親会などもお楽しみに！

◆ 毎月 2 回(原則 第 1・第 3 水曜日)

◆ 会費：中級 2,000 円/月、初級 1,000 円/月

◆ 場所：原則神奈川学習センター

◆ 連絡先：中田 博久 <https://cdek.yokohama/>

■ 韓国語同好会

◆ 韓国語の日常会話を習得し、韓国放送通信大学日本学科との日韓文化交流を通して日韓相互の生活、歴史、文化への学びを深めることを目的としています。

◆ 定例会：2 回/月 第 1・第 3 土曜日

・講師 姜貞福(カン)先生

・授業時間 9:20~10:20 初級(基礎から学びます)

10:30~11:50 中級(日常会話を学びます)

・場所 神奈川学習センター又は大岡地区センター

◆ レク活動：近郊の関連地散策、日韓交流会等 興味をもたれた方、是非お仲間に！

◆ 問い合わせ：サークル協議会ウェブサイト

<https://kcc-ouj.net/dantai/hangugo/index.html>

■ 神奈川合唱団

◆ 合唱未経験者歓迎

◆ 合唱を愛好する皆さんと一緒に音楽を通して学生生活をエンジョイするサークルです。現在 30 有余名の学生が合唱を楽しんでおります。

◆ 2025 年 4 月には、国際シニア合唱祭(みなとみらい大ホール)で<喝采><秋桜>を歌いました。

◆ 指導は、発声・歌唱を清水一成先生(プロのオペラ歌手)、ピアノ伴奏を村上千絵先生のご指導で練習に励んでおります。

◆ 場所：大岡地区センター 音楽室 2 階

(神奈川学習センターの斜め前のビル)

◆ 練習日：毎月 第 2・第 4 水曜日 18:30~20:30

◆ 連絡先：nobukishi0429@gmail.com

■ ダンスサークル(社交ダンス)

ダンスはスポーツ！ 人生100年時代に向けて健康増進、素敵な姿勢、ストレス解消に是非ご一緒に踊りましょう。コロナ前には20名でしたが現在は10名、優秀なインストラクターの元で毎回楽しくレッスンに励んでいます。

未経験者大歓迎です！ 先ずはお気軽に見学にお出で下さい。

◆ 神奈川学習センター第7講義室

- ◆ 毎月 2 回、原則第 2 と第 4 火曜 13:30～15:30
 - ◆ 会費 1,500 円/月、年会費 1,000 円
 - ◆ ダンスパーティーで踊れるレベルへ練習(モダン、ラテン)
 - ◆ 連絡先 三浦 直彦 miuranaoh21@gmail.com

■ 中国語学習会

中国語でチョット挨拶ができればなあとか、前から中国文化に興味あったけどという方。ニーオ！中国語学習会です。

中国人の先生と和気あいあい、一生懸命勉強しています。初めてでも、昔勉強した人も大歓迎です。一緒に学ぶ仲間がいるのは心強いですね。

第2・第4日曜日の午前と午後、神奈川学習センターで、ぜひあなたもご一緒に。

詳細は、下記までお問い合わせください。

elcondor@ra2.so-net.ne.jp : 近藤または、
tomomama4213@docomo.ne.jp : 細矢まで。

■ 資格取得研究會

【資格取得研究会】
看護・福祉分野(心理や教育系も含む)のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。目標の資格は、正看護師、看護学士、認定心理士など。例会は、不定期に学習センターで原則土日開催。オンライン開催併用。情報交換が中心。

- ◆ 会費：500円(1年間)
 - ◆ ウェブサイト：<https://shikakuken.net/>
 - ◆ 問い合わせ：080-5546-7913(はこざき)

K-サポートからのお知らせ

学生の皆さんには、2学期が終了し一段落した気持ちでいらっしゃることと思います。

- K-サポートは、2/22に科目登録学習相談会を、2/15・2/22にパソコン初心者塾を開催します。

- 科目登録学習相談会では、科目登録はもとより学習に関する相談全般を受け付けています。パソコン初心者塾では、塾特製のテキストを使って自分のニーズを自分のペースで学び、分からぬところをサポートerに聞くことができます。

- 授業科目の学習のないこの時期こそ相談やサポートを受けてみませんか？ 詳しくはチラシをご覧ください。ご参加をお待ちしております。 (K-サポート事務局)

科目登録 学習相談会のお知らせ

日時：2026年2月22日(日)

時間：13:00～17:00(受付 16:00まで)

場所：2F 第4講義室

内容：2026年度1学期の科目登録に関するご相談、放送大学の学習に関するご相談一般

申込：直通、FAX 第4講義室の相談会場に
お越しください(予約不要)

ご注意：システムによる各自のサポートはしません
パソコン心地好(静音申込料)をご利用ください

Kサポート 学習相談アーム

OUJ 神奈川学習センターだより編集部

K-サポート機関紙編集チーム：伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、
笠崎、三国 K-サポート事務局：垣谷、掌習センタ一事務室：小峯

神奈川学習センターからのお知らせ

2025(令和7)年度放送大学学位記授与式について

2025(令和7)年度放送大学学位記授与式の開催日程及び場所についてお知らせします。
なお、神奈川学習センターでの学位記授与式は実施いたしません。

日 時 3月20日(金・祝) 11:00~12:00
場 所 ベルサール高田馬場
対象者 2025(令和7)年度卒業生・修了生

◆会場での学位記交付について
学部・修士学生：総代のみ(総代以外の学生は郵送での交付となります。)
博士学生：参加者全員

学位記授与式後、放送大学同窓会連合会と共催の卒業・修了祝賀パーティーを同日別会場で開催予定です。

閉所日2日制の導入について

放送大学本部において、「原則として、すべての学習センターで閉所日2日制を実施する」との全体方針が定められたことに基づき、神奈川学習センターでは、令和8年4月から下記のとおり閉所日2日制に移行することといたしました。

神奈川学習センターが閉所している際のお問い合わせは、学習センターのメールや本部学生サポートセンター(043-276-5111)をご利用ください。
何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

閉所日	4月～7月・10月～1月	月曜日、火曜日
	8月～9月・2月～3月	日曜日、月曜日

※閉所日を変更する場合は、当センターのウェブサイト等でお知らせします。

【大学院科目対象】単位認定試験におけるWebカメラによる本人確認実施について

大学院科目を自宅等で受験する場合は、単位認定試験においての厳格性と公正性向上のための取り組みとして、Webカメラによる本人確認を実施しています。

- ① Webカメラ使用のための確認テストの実施(大学院科目登録者は毎学期必要)。
通信指導提出期間内にWeb単位認定試験システム(システムWAKABA)にログインし、確認テストを受験してください。
※「撮影不同意」、「Webカメラ不所持」、「確認テスト未受験」の場合は、自宅受験を希望していくとも、強制的に学習センター受験に変更となります。
- ② 確認テスト実施済みの方は、単位認定試験期間内にWebカメラを用いて自宅等で単位認定試験を受験してください。

※ Webカメラの操作等に不安がある場合は、学習センターで単位認定試験を受験することもできます。
希望者は、所定の期日までにシステムWAKABA(または郵送)で受験場所変更の手続きを行ってください。詳しくは学生生活の葉を参照してください。

お問い合わせ先: shugaku-ka@ouj.ac.jp

お問い合わせの際は、以下の情報を明記の上、メールを送信してください。

①氏名、②学生番号、③連絡先、④動作環境(OS名、ブラウザ名)、⑤ご質問内容(Webカメラの操作・設定に関するお問い合わせにはお答えできません)

2026年度 第1学期 入学生募集!!

募集学生 教養学部(全科履修生・選科履修生・科目履修生)、大学院(修士選科生・修士科目生)
募集期間 第1回 2月27日(金)まで、第2回 2月28日(土)～3月16日(月)

ご家族やご友人で入学を検討されている方や、放送大学に興味があるという方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。大学案内パンフレット、授業科目案内、学生募集要項などをお送りします。気軽にお申し込みください。



放送大学 資料請求

検索